

# 家畜衛生だより



令和4年度第1号（牛） 令和4年4月発行

南部家畜防疫協議会  
（公社）千葉県畜産協会  
千葉県南部家畜保健衛生所  
〒296-0033 鴨川市八色52  
電話 04(7092)2304  
FAX 04(7092)1434

## 新年度挨拶 所長挨拶

平素より家畜保健衛生所業務に御理解御協力を頂き、御礼申し上げます。このたび南部家畜保健衛生所長を拝命した市沢と申します。よろしくお願いいたします。今年度も、家畜伝染病発生情報や皆様へのお知らせを「家畜衛生だより」として送らせて頂きますので御一読下さるようお願いいたします。

まず、牛の検査についてですが、今年度はいすみ市・南房総市・袖ヶ浦市・館山市の該当地区で、ヨーネ病定期検査を実施しますので御協力をお願いいたします。

養鶏について、令和2年度に県内で続発した高病原性鳥インフルエンザですが、昨年度も県内で3事例の発生がありました。環境省が全国で実施している死亡野鳥の検査で陽性事例が散発していることや、この4月には青森県の肉用鶏飼養農場で発生が確認されるなど、今後も農場への侵入防止に向けた取組の継続が非常に重要です。

養豚については、昨年末宮城県での豚熱発生を受け、疫学関連農場とされた県内6農場で防疫措置を実施しました。豚熱ワクチン接種に関しては、家畜防疫員による接種に加え知事認定獣医師による接種体制も整い、県下全域で追加接種を継続しております。しかしながら、関東近県でも野生いのししの陽性事例が後を絶たず、4月13日には茨城県石岡市の1000頭規模養豚場で豚熱の発生があるなど、依然として予断を許さない状況です。

家畜伝染病から農場を守り、感染拡大を防止するため、家畜飼養者の皆様には引き続き飼養衛生管理基準各項目の遵守徹底、万一に備えた埋却地の確保等と共に、家畜・家きんに異常があった場合は、速やかに家畜保健衛生所に御連絡下さるようお願いいたしまして、簡単ではございますが御挨拶とさせていただきます。

## 令和4年度南部家畜保健衛生所 新体制



所長 市沢 三香  
次長 江森 格\*



### 衛生指導課

課長 石川 直子  
主査 平川 智子  
専門員 佐藤 沙樹\*  
主任技師 小高 宏貴  
技師 土肥 世生\*  
技師 阿部 久瑠美

### 防疫課

課長 田中 なほ子  
専門員 矢嶋 真二  
技師 高貫 秀幸\*  
技師 山口 敦子  
技師 後藤 花菜

### 転出者

江森美香、瀧口由貴、大矢美帆、谷水友也

### \* 転入者

令和4年度 定期報告書 未提出の方へ

# 定期報告書の提出をお願いします！

家畜を飼養している方は、毎年、農場ごとに、2月1日時点の家畜の飼養頭羽数、飼養衛生管理状況を、県に報告することが義務づけられています。

まだ定期報告書の提出がお済みでない方は、お手数ですが以下の提出期限までにご提出をお願い致します。

## 【提出期限】

牛、水牛、馬、鹿、羊、山羊、豚、いのしし

4月15日まで

鶏、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょう

6月15日まで

## 外国人技能実習生を受け入れている農場へ

今般、外国人技能実習生を含む外国人の入国制限が緩和されることを踏まえ、改めて、母国を含めた海外から肉製品が郵送されることのないようご注意ください。

## BVD検査 申請締切

- BVD検査の申請締切を、本年度も 毎月5、15、25日の月3回とします。  
(土日祝日の場合は、原則前の平日)  
※ゴールデンウィークは例外で5月6日になります。

- 申込みのあった牛については、申込締切日以降に日程調整し、採血に伺います。

- 「県乳牛育成牧場」「南房総市ふれあい牧場」に預託する牛については、各取りまとめ機関への預託申込みにより検査を実施します。

- お申込みの際は電話にてワクチン接種状況、検査希望頭数、生年月日、個体識別番号をお伝えください。

2022年4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※4月は5日、15日、25日

2022年5月

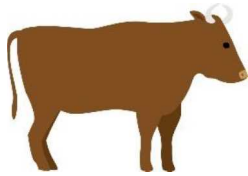
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※5月は、6日、13日、25日

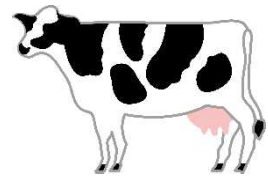
南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※休日、夜間は転送されますので必ず5回以上のコールをお願いします。

酪農、肉用牛農家の皆様へ



飼料価格高騰に係る対策について  
飼料を無駄なく使いましょう！！



飼料を巡っては、とうもろこしや大豆油かすの国際価格の高騰や海上輸送の混乱や円安等により不安定な供給状況が生じております。

世界情勢を鑑みると、当面の間、飼料の高騰や輸入遅延による不安定な需給状況が予想されます。今一度、飼料給与方法を確認し、今まで以上に飼料を無駄なく使えるよう取り組みましょう。

#### 【チェックしましょう】

- ・ 泌乳量や増体量に応じた適正な飼料給与量の把握
- ・ タンク下のホッパーや搬送機のつなぎ目から飼料がこぼれていないか確認
- ・ 残飼や盗食などの状況の確認（給与飼料が無駄にならないように努める）
- ・ 入手可能な粗飼料への切り替えを行い、必要に応じ、飼料メニューを見直す。ただし、消化障害防止のため、暑熱時の大幅な変更は避ける。

#### 【飼料を無駄なく使うための対策】

- ・ 飼料のロスを減らすため、多回給餌により残飼、飼料の食べこぼしを減らすように努める。
- ・ グレードダウンによる品質低下がある場合は、数種類の粗飼料の切断、混合給与等により、嗜好性や採食率を高める工夫を行う。
- ・ 粗飼料の牛床への引き込みによるロスを防止するため、切断長を短くする。
- ・ 残飼の変敗や異臭等による摂食量低下を防ぐため、飼槽やウォーターカップの修繕・清掃をこまめに行い、飼料の水濡れを防止する。
- ・ 暑熱時におけるTMRの混合は複数回に分けて、飼料の変敗を防止する。
- ・ ネズミやハト等による飼料の汚損・損失を防ぐため、駆除等の対策を行う。
- ・ 繋ぎ飼いでは、盗食防止のため、繋留ロープ等の長さを適正にする。
- ・ ブリスケットボードの設置により飼槽と牛床を分離し、飼料の引き込みを防止する。
- ・ フリーストール牛舎では、給餌時にスタンション等の活用やこまめな餌寄せの実施により食い負ける個体が出ないように努める。

連絡先	千葉県農林水産部 畜産課生産振興班
電話	043-223-2939
FAX	043-222-3098